

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神保健福祉基礎論Ⅴ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	岡井 豪	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>本科目は、精神保健福祉援助実習を見据えた学習となる。そのため、精神保健福祉援助実習の意義について理解し、精神保健福祉士として求められる資質、技術、倫理、自己に求められる課題把握など、総合的に対応できる能力を習得する。具体的な体験や援助活動を、専門的知識及び技術として概念化し、また理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>実習という科目の性質上、出席・時間厳守を重視する。他、提出物の厳守もこれに含まれる。授業態度・マナーは、もちろん評価対象になる。更には、グループワークなどでの参加、グループの発表内容なども評価の対象となる。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>使用(配布)テキストはなし。 参考図書として、日本ソーシャルワーク教育学校連盟編「社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座(7)ソーシャルワーク演習(精神専門)、(13)ソーシャルワーク演習(共通科目)」(中央法規)を使用する場合がある。</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>実習におけるマナーや態度を念頭におき、日ごろから報告、連絡、相談を確実に実行すること。自分自身をしっかりと見つめながら、真摯に、誠実に、謙虚な姿勢を築いてください。また、実習報告会でもあったように、日ごろからニュースなどに関心をもつように心がけるように。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>2年生で地域福祉実習を経験する。学外実習となることから体調管理など留意するようにする。また、実習では今までの学習が横断的に行われるために、様々な知識が求められることに留意する。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉援助実習の授業概観を理解することにより、今後の見通しを立てることができる。	配布資料	初回のため、なし	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習の意義・目的を学び、それらを理解し、なぜ実習がカリキュラムに含まれているかという点を自ら説明できるようになる。	配布資料	配布資料の通読	
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉援助実習の意義・目的について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習の位置づけを学び、それを理解することにより、実習中の自分の立ち位置がわかる。	配布資料	配布資料の通読	
		各コマにおける授業予定	実習の位置づけについて			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域における精神保健福祉の現状を知り、事業所別理解をすることにより、実習先の種別が明確化される。	配布資料など	配布資料の通読 大阪市・居住地の事業所を調べる	
		各コマにおける授業予定	大阪市を含む大阪府内の障がい福祉サービスの事業所を知る。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	1日体験実習の個人票・誓約書を作成することにより、1日体験実習への意識を高める。	配布資料など	配布資料の通読 自己PRを考える	
		各コマにおける授業予定	1日体験実習の個人票・誓約書の作成の作成			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	1日体験実習の実習日誌の書き方を学び、それを理解し、比較的スムーズに実習日誌が書けるようになる。	配布資料など	配布資料の通読
		各コマにおける授業予定	1日体験実習の実習日誌の書き方を学習する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	1日体験実習の実習日誌の書き方を学び、それを理解し、比較的スムーズに実習日誌が書け、日誌への不安が軽減できる。	配布資料など	配布資料の通読
		各コマにおける授業予定	1日体験実習の実習日誌の書き方を学習する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	1日体験実習時の学びを明確化し、それを理解し、主体的に実習に臨むことができる。	配布資料など	配布資料の通読 実習日誌を書いてくる
		各コマにおける授業予定	1日体験実習時の目標を考える。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	1日体験実習より振り返りを行い、その原因を理解し、それを2年次での実習課題につなげることができる。	配布資料など	配布資料の通読
		各コマにおける授業予定	1日体験実習の振り返り		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	グループで1日体験実習の準備をすることにより、そのメンバーでの学んだことの相違を確認することができ、気づきへの動機付けとさせる。	配布資料など	配布資料の通読
		各コマにおける授業予定	1日体験実習の報告会の準備1		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	グループで1日体験実習の準備をすることにより、そのメンバーでの学んだことの相違を確認することができ、気づきへの動機付けとさせる。	配布資料など	配布資料の通読
		各コマにおける授業予定	1日体験実習の報告会の準備2		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	1日体験実習の報告会を行うことにより、実習先種別の違いや特色がわかり、様々な事業があることがわかる。	配布資料など	配布資料の通読
		各コマにおける授業予定	1日体験実習の報告会		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	1日体験実習の共有化がされ、自分自身の気づきを知り、それを今後、どのように活かすことができるのか思慮することができる。	配布資料など	配布資料の通読
		各コマにおける授業予定	1日体験実習のまとめ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域福祉実習の実習先の選定をすることにより、実習先で学びたいことなどの意識付けのきっかけとさせる。	配布資料など	配布資料の通読
		各コマにおける授業予定	地域福祉実習の実習先の選		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期の授業を振り返ることにより、自分の課題が明確化され、それを今後活かすことができる。	配布資料など	配布資料の通読
		各コマにおける授業予定	復習・まとめ		